

本製品を使用する前に、製品取扱説明書をよくお読みください

XGIMI Technology Co., Ltd. (以下「XGIMI Technology」または「XGIMI」) の製品をご購入、ご利用いただきありがとうございます。お客様の安全と利益のために、本製品を使用する前に製品取扱説明書をよくお読みください。

本製品を適切または安全に使用しなかったために生じる可能性のある人身傷害、財産に対する損害、その他の損失について、XGIMI Technologyは一切の責任を負いません。

製品取扱説明書 (以下「本説明書」) について

本説明書の著作権は、XGIMI Technologyに帰属します。
本説明書に記載されている商標および名称は、各権利所有者に帰属します。
本説明書の内容と実際の製品との間に矛盾がある場合は、実際の製品が優先されるものとします。

本説明書に記載されている内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に書面でXGIMI Technologyに申し立てるものとし、かかる申し立てがない場合は、本説明書のすべての内容に同意し、理解して受け入れたものと見なされます。

Google TVおよびGoogle Castは、Google LLC.の商標です。

Googleアシスタントは特定の言語と国では利用できません

HDMI®

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Dolby Audio

Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。

*製品型式:WM03A

*XGIMI Technologyは製品使用方法を解釈して修正する権利。

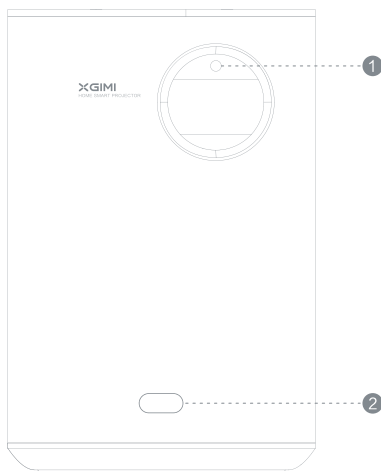
概要

1. 前面図

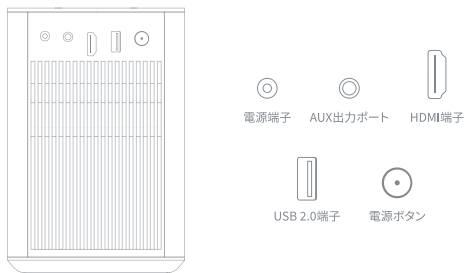
① オートフォーカス ToFセンサー

② 自動台形補正センサー

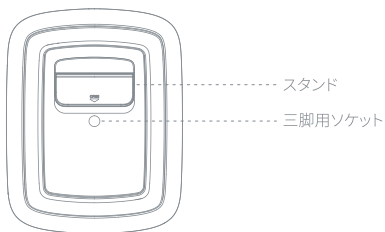
注: 台形補正の失敗を防ぐために、センサーを遮らないようにしてください



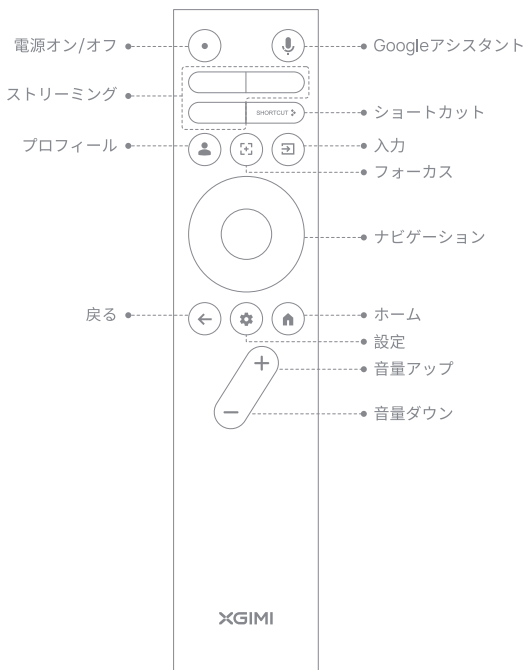
2. 背面図



3. 底面図



4. リモコン図



5.LEDインディケーターガイド

電源ボタン	デバイスステータス	LEDステータス	説明
⊙	デバイスがオン	オフ	バッテリー容量が30%以上
		赤に点滅	バッテリー容量が30%未満
	デバイスがオフ	赤に点灯	充電中 バッテリー容量が90%未満
		緑に点滅。その後オフ	バッテリー容量が90%以上

6.デバイスステータス

- 画面オフ: リモコンまたはデバイスの電源ボタンを押すと、画面のみがオフになります。他の機能は継続して動作します。
- 再起動: デバイスを完全に再起動します。
- スリープ: スリープモードに入ります。
- 電源オフ: デバイスを完全にオフにします。このモードは外出時に最適です。オンにするには、電源ボタンを2回押してください。

はじめに

1 デバイスのオン/オフ

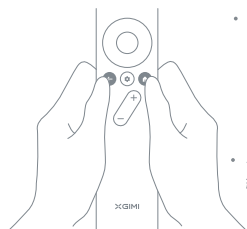
初めてデバイスを使用する際には、誤作動防止機能が有効になっています。そのため、デバイスをオンにするには、電源ボタンを2回押してください。初回使用時には、デバイスを電源に接続することを推奨します。

2 本製品の起動方法

本製品のステータス	本製品の起動方法
電源アダプター接続済み	本製品の電源ボタンを1.5秒間長押しするか、リモコンの電源ボタンを短く押します
電源アダプター未接続	本製品の電源ボタンを1.5秒間長押しします

アクション	トリガー	トリガー方法	説明
電源オフ	本製品の電源ボタン	本製品の電源ボタンを3秒間長押しします	このモードは、本製品を長期間使用しない場合に適しています。これによりバッテリー寿命を延長することができます
	リモコンの電源ボタン	リモコンの電源ボタンを長押しして、画面上の指示に従い、アクションを選択します	
スリープ	本製品の電源ボタン	本製品の電源ボタンを押します	このモードでは、本製品の使用電力がわずかになるため、次回使用する際にすばやく起動できます
	リモコンの電源ボタン	リモコンの電源ボタンを押します	
画面	リモコンの電源ボタン	リモコンの電源ボタンを長押しして、画面上の指示に従い、アクションを選択します	他のコンポーネントが正常に作動している場合にのみディスプレイをオフにしてください

3 リモコンのペアリング



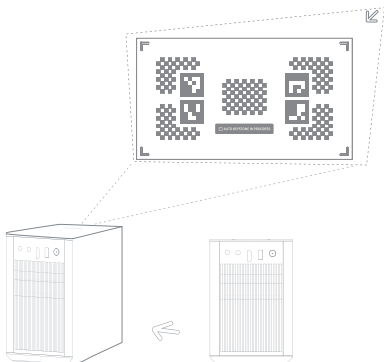
- リモコンをデバイスから10 cm以内に近づけて「←」と「⬆」を同時に押してください。リモコンがペアリングモードになると、表示灯が点滅し始めます。点滅が開始したらボタンを離してかまいません。発信音が鳴ったら接続完了です
- ペアリングが失敗したら、30秒後に上記の手順を繰り返してください

4 画像のフォーカス調整

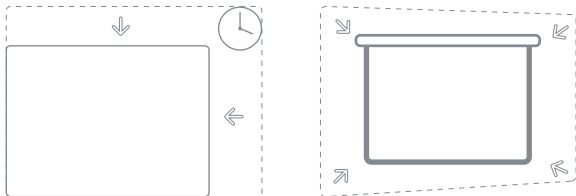
リモコンのフォーカスボタン  を使用するとフォーカスできます。短く押すと自動フォーカス、長く押すと手動フォーカスになります。ナビゲーションの左ボタンと右ボタンを使うと、手動でフォーカスできます。

5 自動台形補正

- 自動台形補正機能が有効な場合は、デバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます



- 自動障害物回避機能を有効にすると、投影エリアに障害物がある場合、フレームは自動的にそれらの障害物を回避します。自動画面調整機能を有効にすると、投影エリアに16:9または16:10の画面がある場合、フレームは自動的にその画面に合わせられます



- リモコンの  ボタンを使用して、[設定]>[プロジェクター]>[キーストーン]>[自動キーストーン補正]の順に選択します。[自動キーストーン補正]を選択すると、自動キーストーン補正機能を有効にできます。[手動キーストーン補正]を選択すると、フレームの4つのポイントとサイズを調整できます。

6 Googleアシスタント

- Googleアシスタントに話しかけて、自分の声でプロジェクターを操作します。
リモコンのGoogleアシスタントボタンを押すと、映画や番組の検索、気分にあうおすすめ作品の確認、質問、スマートホームデバイスの操作などを行うことができます。

7 Google Cast



Google Cast

- Google Castを使うと、お気に入りの映画や音楽などを簡単にテレビで視聴できます。
- Google Castボタンをタップすると、Google Castをインストールしたスマートフォン、タブレットやノートパソコンに接続して、簡単にプロジェクターで投影することができます。また、同時にスマートフォンなどの他の機能を使用することができます。

8 プロジェクターを充電する

- デバイスは公式の標準アダプターで充電してください
- 電源オンの状態で充電すると充電時間が長くなります
- 電源オフの状態で電源に接続した場合、赤色の点滅は充電中、緑色の点灯は満充電であることを示します（緑色のライトは10秒後に消灯します）。
- 長期間使用しない場合、デバイスを満充電にしてください。デバイスをオフにする際には、電源オフモードを選択します。再び電源オンにするには、リモコンで操作することができず、本体の電源ボタンを長押しする必要があります。また、長期間充電せずに放置すると自然放電したり、バッテリー劣化につながる可能性があるため、3か月ごとに充電する必要があります。

9 ファームウェアの更新

- ファームウェアの更新は、デバイスのバッテリー残量が50%以上あるか、電源に接続されている場合にのみ実行できます。
- オンラインアップグレード
システム設定からオンラインアップグレードを実行できます
注: システム設定「」からオンラインアップグレードを実行できます

注意事項

安全にご使用いただくために：

- 動作時の光線をのぞき込まないでください。まぶしい光により目を傷めるおそれがあります。
- デバイスは動作時に熱を発生します。本体の過熱を防ぐため、換気口をふさいだりしないでください。
- レンズの損傷を防ぐため、紙や布が含まれる清掃用具でレンズを直接拭かないでください。レンズ表面のゴミは、きれいなエアブローで吹き飛ばしてください
- 回路基板が雨水、湿気、鉱物を含む液体によって腐食するのを防ぐため、化学薬品、洗剤、またはいかなる液体でもデバイスを洗淨しないでください
- デバイスおよびその構成部品や付属品は、お子様の手に届かないところに置いてください
- デバイスは必ず乾燥した換気の良い環境で使用されるようにしてください
- 極端な温度下では電子機器の寿命が短くなりますので、極度の高温または低温になる場所でデバイスを保管しないでください。デバイスは0℃から40℃までの環境下に置いて、使用してください
- デバイスを加熱機器（乾燥機や電子レンジなど）に入れて乾燥させないでください
- デバイスの損傷を防ぐため、デバイスを強く押し出したり、デバイス上やデバイスの背面に障害物を置いたりしないでください
- 内部回路基板の破損を防ぐため、デバイスを投げつけたり、叩いたり、激しく振動させたりしないでください
- お客様ご自身によるデバイスの分解や組み立てを行わないでください。問題が発生した場合は、XGIMIのアフターサービスに連絡してください
- お客様ご自身による修理を行わないでください。デバイスまたは構成部品が正常に動作しない場合は、XGIMIのアフターサービスへ適時に連絡するか、修理のために工場に返送してください
- イヤホンは注意して使用してください。イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧によって、聴覚を損失する可能性があります
- 明るい光源の場合と同様に、光線を直接見つめないでください。

RG2 IEC 62471-5:2015



RG2

FCC警告

本デバイスはFCC規則のPart 15の規定に適合しています。動作においては、次の2つの条件を遵守しています。(1) 本デバイスは、有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) 本デバイスは、偶発的な操作をもたらす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならないこと。ユーザーマニュアルまたは操作説明書は、責任を有する法令遵守当事者からの明示的な承認なく意図的または非意図的にラジエーターを変更および交換すると、ユーザーによる本デバイスの操作ができなくなる可能性についてユーザーが想起できるような記載を含んでいるものとします。マニュアルが紙以外の形態で提供される場合、たとえばインターネットからコンピュータのディスクを介して提供される場合、本項で要求される情報は、ユーザーが当該形態の情報にアクセスできることを前提として、代替形態でマニュアルに含めることができます

クラスBのデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーによって提供される指示には以下の記述または類似の記述を含めるものとし、それらをマニュアル内の目立つ場所に記載するものとします

注: 本デバイスは、FCC規則のPart 15に準拠したクラスBのデジタルデバイスに対する制限に適合していることについてテスト済みです。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉を効果的に防止することを目的としています。指示に従って設置および使用しない場合、本デバイスは高周波エネルギーを発生および放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。本デバイスによってラジオまたはテレビ電波の受信に有害な干渉が発生した場合(本デバイスの起動および停止によって判別可能)、ユーザーは以下の1つまたは複数の方法で干渉を修正することが推奨されます

- 受信アンテナの向きを変える
- 本デバイスと受信機との間の距離を広げる
- 受信機が接続される回線とは別の回線の差し込み口にデバイスを接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの経験のある技術者にサポートを依頼する
- 本デバイスがスレーブとして、2.4 GHz (2402~2480 MHz、2412~2462 MHz) 帯または 5 GHz (5.180 GHz~5.240 GHz、5.260 GHz~5.320 GHz、5.500 GHz ~5.700 GHz、5.745 GHz~5.825 GHz) 帯で動作している

EAC RoHS
FCC ID: 2AFENWM03A

CEメンテナンス

1. 不適切なタイプのバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは指示に従って廃棄してください
2. 本製品は、バージョンUSB2.0のUSBインターフェイスにのみ接続するものとします
3. アダプターはデバイスの近くに設置し、簡単に取り扱えるようにします
4. EUT動作温度範囲: -10℃～40℃
5. アダプター:
プラグは、アダプターの切断デバイスと見なされます
電源およびADP (定格):
入力: AC 100V-240V, 50/60Hz, 1.5A
出力: DC 19.0V, 4.74A
6. 本デバイスは、人体から20cm離れた場所で使用した場合に、RF仕様に適合するものとなります
7. 聴覚を損なう恐れがあるため、大きい音量で長時間聞かないでください

適合宣言

XGIMI Technology Co., Ltd.は、本製品が指令2014/53/EUの必須要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言します

本製品は、一部のEU加盟国での使用が許可されています。たとえば、本製品は次の加盟国で使用できます

5.15～5.25GHz帯での操作は、屋内使用に限定されます。

この周波数は、運用に関する制限または使用の承認に関する要件が存在する

以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

 			
BE	EL	LT	PT
BG	ES	LU	RO
CZ	FR	HU	SI
DK	HR	MT	SK
DE	IT	NL	FI
EE	CY	AT	SE
IE	LV	PL	UK

放射線被ばくに関する声明

リモコンについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています

送信機は、その他のアンテナまたは送信機と組み合わせて設置したり操作しないものとします

LEDプロジェクターについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています。本デバイスの設置および操作においては、ラジエーターと本体の間の距離が20 cm以上である必要があります

注: 5150～5250 MHzの周波数範囲は、屋内使用に限定されます

この周波数は、運用に関する制限または使用の承認に関する要件が存在する以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

使用済み製品の廃棄手順:



本製品は、リサイクル可能な高品質の材料および構成部品を使用して設計および製造されています



製品上のこの記号は、指令2012/19/EUに基づいて製品が保護されていることを示します

* メーカー指定またはメーカー提供の付属品/周辺機器 (専用の電源アダプターなど) のみを使用してください

* 本製品は有害な光を放射する可能性がありますのでご注意ください